

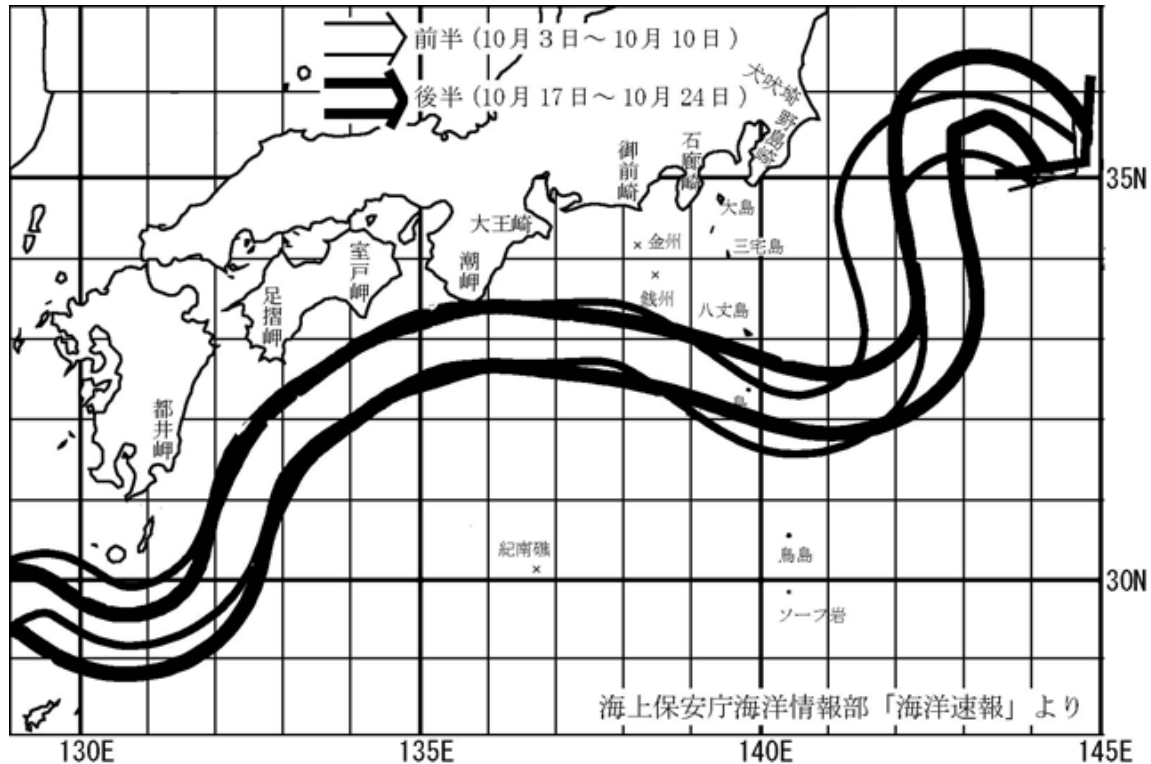
漁海況月報

No. 10

平成18年10月1日

～10月31日

静岡県水産試験場
(電話 054-627-1815)
静岡県水産試験場伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値(°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	23.7	23.8	23.5	23.0	23.4	23.0	21.9
	1.6	0.8	0.5	-0.5	0.4	0.5	-0.5
中旬	22.1	22.4	22.4	22.6	23.0	23.0	21.7
	0.6	0.0	0.2	-0.3	0.6	1.3	0.4
下旬	21.7	22.2	21.7	22.1	22.2	22.3	21.1
	1.1	0.5	0.4	0.0	0.8	1.5	1.1
月	22.5	22.8	22.5	22.5	22.8	22.8	21.6
	1.1	0.4	0.3	-0.3	0.6	1.1	0.3

【黒潮流路】

潮岬以西では月を通して接岸傾向で流れた。潮岬以東では、前半、遠州灘沖33°Nを東進後、御前崎沖から南東に向かい伊豆諸島を迂回するように32°N付近に達した後、142°E付近を北上した(C型)。後半には、御前崎沖から東南東に向かい、八丈島の南を通り、142°30'E付近を北上した(C型)。前月から今月にかけて、黒潮の小蛇行が規模をやや拡大しつつ、伊豆諸島海域を東進した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では21～24°C台、駿河湾東部では21～23°C、西部では20～23°C台で経過した。全般に平年並み～高めであったが、駿河湾東部の雲見では低め基調の平年並みであった。沿岸域への暖水波及はなく、また伊豆諸島海域では低水温が顕著であった。

【竿釣近海カツオ】

10月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は18トンの前年同期の72%であった。魚価は332円/kgで、前年同期を上回った。10月の漁況はおおむね以下のおり推移した。近海竿釣り船の主漁場は三陸東沖で特大～チンまで様々なサイズのカツオを漁獲した。静岡県近海では、主に沿岸竿釣り船が黒瀬等で操業し、体長40～65cmのカツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	水揚/隻(トン)	平均単価(円/kg)
18年10月上旬	12.1	3	4.0	241
中旬	5.4	4	1.4	528
下旬	0.4	1	0.4	425
18年10月計	17.9	8	2.2	332
17年10月計	25	15	1.7	223
16年10月計	93	54	1.7	626

【定置網】

平成18年10月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)における水揚量は141トンであった。操業がなかった赤石を除く1漁場当たり水揚量20.1トンは前年33.2トンの61%、平年値(昭和57～平成17年平均値)40.0トンの50%であった。魚種別にみると、①イサキ27.2トン(A:前年同月比188%、B:平年同月比196%)②サバ類16.2トン(A:17%、B:22%)③ウルメイワシ11.0トン(A:64%、B:95%)④アカカマス10.7トン(A:1718%、B:211%)⑤メアジ10.6トン(A:9500%、B:327%)の順に多かった。イサキは北川、赤沢を中心に入網し、尾叉長のモードは15cmと小型魚中心であった。サバ類はゴマサバ主体で、古網、川奈、北川を中心に入網し、尾叉長のモードは33cmにみられた。ウルメイワシは北川、赤沢を中心に入網し、被鱗体長のモードは17cmであった。アカカマスは北川を中心に入網し、尾叉長のモードは23cmと26cmにみられた。メアジは月末に川奈に集中的に入網した。未測定であるが、目視では尾叉長は20cm前後であった。

漁場別水揚量は、北川(49トン：イサキ、アカカマス、ウルメイワシ主体)、川奈(29トン：メアジ、ワラサ、サバ類主体)、赤沢(23トン：イサキ、ウルメイワシ、マルソウダ主体)の順であった。

[サバたもすくい棒受網]

小川港に水揚げされたゴマサバは、前月の水揚量(252トン)をやや上回る323トンであった。漁場は、三宅及び三本海域に形成された。水揚げされたゴマサバは、尾叉長27～33cmの大きさの2004年級と思われるものを主体に、34cm以上のものが混じっていた。1kg当たりの平均単価は49円で、安値であった前年同月(22円/kg)及び先月(38円/kg)を上回った。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成18年 上旬	56	3	6	9.4	三宅
10月 中旬	162	5	10	16.2	三宅、三本
下旬	104	3	6	17.4	三宅、三本
計	323	11	22	14.7	-----
平成17年10月	321	5	13	24.7	銭洲、高瀬、三宅
平成16年10月	655	6	20	32.8	高瀬、三宅、利島

水揚量は各旬で四捨五入しているため、計と一致しない

[サクラエビ船曳網]

平成18年秋漁は10月30日夜が初漁となった。10月の出漁は平成15年以来3年ぶりとなった。10月の水揚量は2日で64トンとなり、漁場は主に三保沖に形成された。

また、漁獲されたサクラエビは、体長29mmにモードを持つ当歳エビと41mmにモードを持つ1歳エビで構成された。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り (kg)	漁 場
平成18年10月 上旬	—	—	—	—
中旬	—	—	—	—
下旬	64	2	平均 534	三保沖
平成18年10月 計	64	2	平均 534	—
平成17年10月 計	—	—	—	—
平成16年10月 計	—	—	—	—

[シラス船曳網]

9月における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で242kg、遠州灘で411kgだった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は359kgと前年同期の89%、平年同期(過去5か年平均：258kg)の139%と前年同期を下回り、平年同期を大幅に上回った。また、総水揚量は942.9トンで前年同期の115.6%と上回り、平年同期(592.4トン)の159.2%と大幅に上回った。平均単価は720円/kgと平年同期(909円/kg)を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	101.2	19	260	389	625
舞 阪	411.3	20	933	441	642
福 田	172.2	16	430	401	726
御前崎	61.4	16	192	320	745
吉 田	120.8	18	467	259	793
静 岡	75.9	16	346	219	1,115
平成18年10月計	942.9	105	2,628	359	720
平成17年10月計	815.4	85	2,024	403	545
平成16年10月計	165.9	81	1,744	95	1,521

[まき網]

マイワシの水揚げは、小川港では0.96トン(平年同期は219.2トン)、沼津港では48.0トンで平年同期(334.5トン)の14.3%、静浦港では0.02トン(平年同期は10.2トン)、伊東港では0.01トン(平年同期は67.1トン)の水揚げで、極めて低調に推移した。

注) 平年同期：過去5か年平均

[調査船の動向]

富士丸

- 10月1日～10月3日 焼津港碇泊
- 10月4日～10月4日 ドックへ回航(1日間)
- 10月21日～10月21日 ドックから回航(1日間)
- 10月28日～10月28日 一般公開(小川港さば祭り)(1日間)

駿河丸

- 10月2日～10月2日 ドックから回航(1日間)
- 10月3日～10月5日 地先定線観測(駿河湾、遠州灘)(3日間)
- 10月10日～10月11日 サクラエビ調査(駿河湾)(2日間)
- 10月12日～10月13日 マリンロボ調査(3,4号基)(2日間)
- 10月16日～10月16日 公共用水域水質調査(駿河湾)(1日間)
- 10月17日～10月18日 サクラエビ調査(駿河湾)(2日間)
- 10月19日～10月20日 マリンロボ調査(3,4号基)(2日間)
- 10月23日～10月23日 サバ調査(駿河湾)(1日間)
- 10月26日～10月27日 サバ調査(駿河湾)(2日間)
- 10月28日～10月28日 一般公開(小川港さば祭り)(1日間)